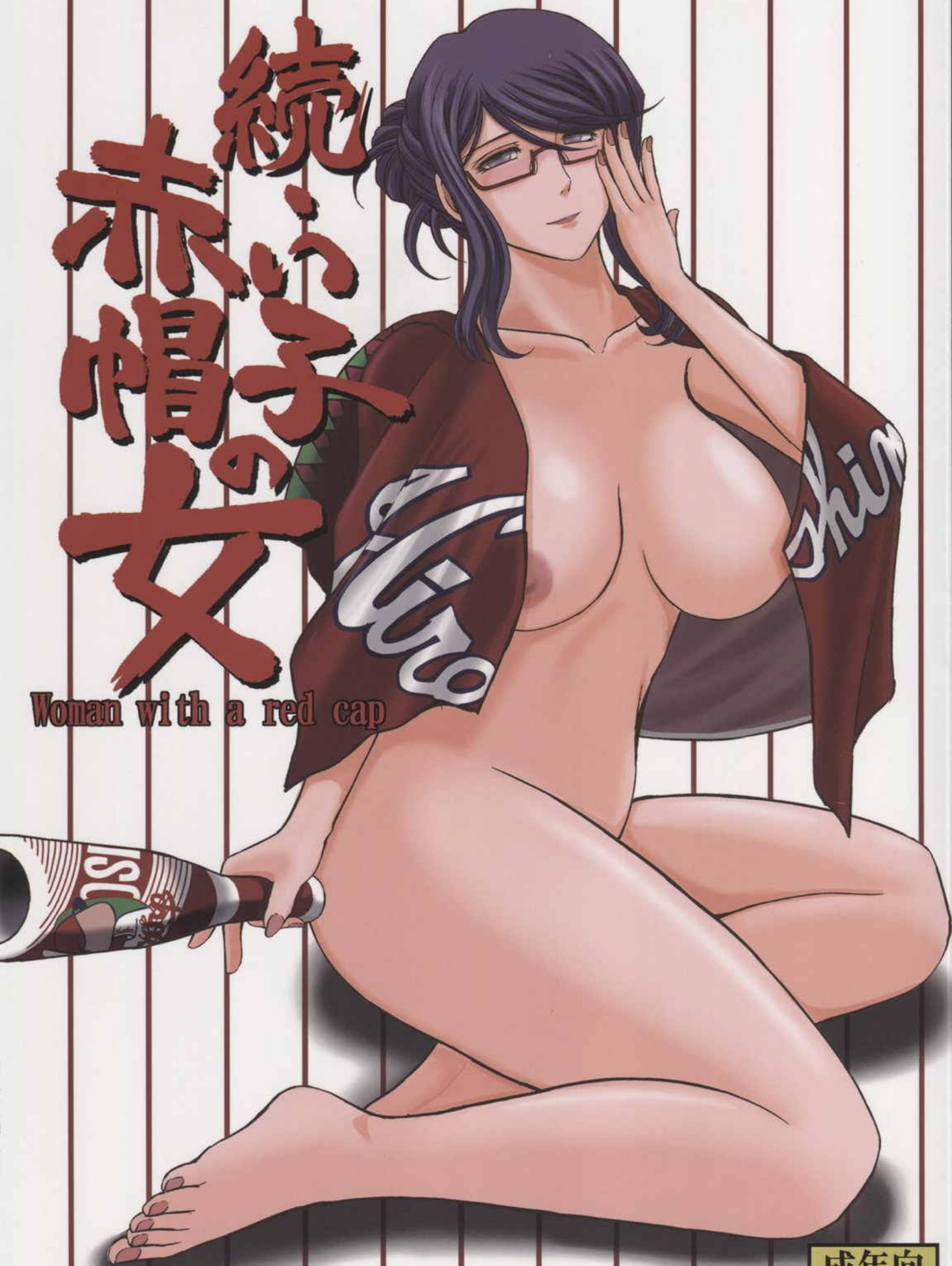


続  
赤い  
帽子  
の  
女

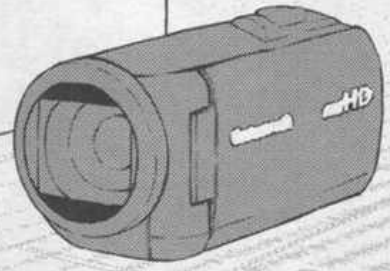
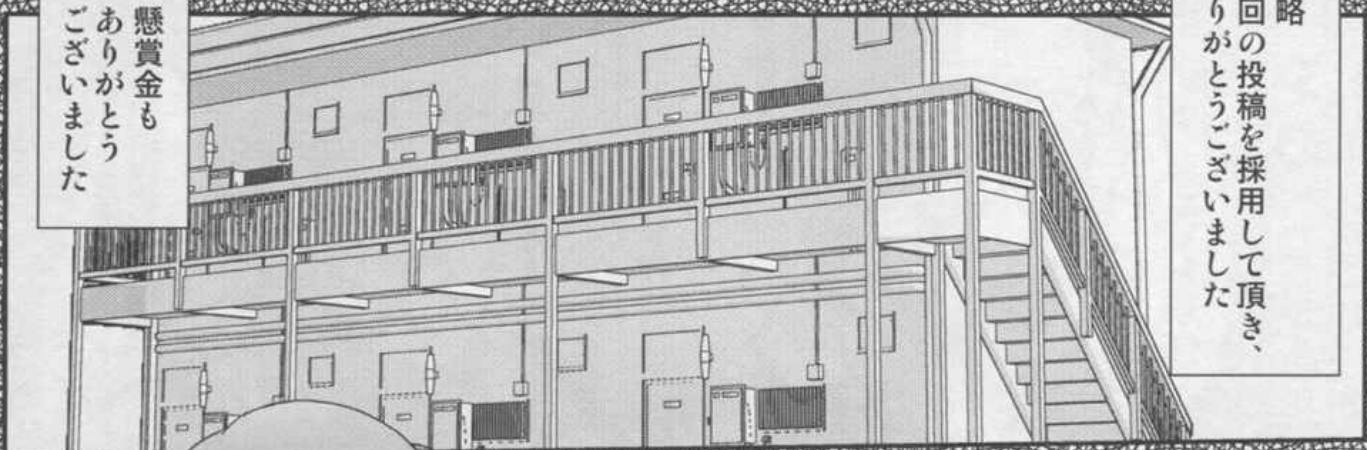
Woman with a red cap



成年向

前略  
前回の投稿を採用して頂き、  
ありがとうございます

懸賞金も  
ありがとうございます  
ございました



おかげで撮影用の  
新しいカメラも  
買う事が出来ました

今回は  
彼女が私の家に  
初めて来た時の事を  
書かせて頂きます



やあ、  
おはよう

基町くん♡

お、  
来たか



ポイント

せっかくの日曜日に  
呼び出して悪かったね

女房とは  
3年前から別居中でね

このアパートで  
独り暮らしなんだ

何か  
飲むかね？

いえ

先日の接待の  
帰りでの：

それで、  
大事な話  
というのはだね

その：  
君と：私の：

忘れます

あの時のことは  
私は忘れる事に  
しています

部長が私を凌辱した事は  
決して許される事では  
ありません

しかし、  
それを公にすれば  
部長も困る筈です

誰にでも  
魔が刺す事は  
あると思います

大丈夫だよ  
何もしないで

こんな  
恥ずかしい格  
好さな  
もし  
結さな



あの時の感覚は  
忘れられない

しかし、  
あの時以上の快楽を得れば  
忘れる事が出来るかもしれない

我ながら  
ひどい理屈だと  
思います

しかし、  
元々彼女に  
拒む選択肢は  
ないのです

私が  
あの日の写真を  
持つてる限り

失礼するよ

それじゃ：

さて

やっ

グニッ！

あっ!?

ら：  
乱暴にしないで  
下さいっ

ふむ

この間よりも  
汗のにおいが強いな

むわっと  
する

ですから  
今回はなるべく彼女が  
恥ずかしがる様な行為を  
心がけました

それにわずかに  
汗ではない汁も  
出てきている様だね

どうかな  
味をみれば  
解るよ

君のおまんこは  
あの時たつぷりと  
味わったからね

ふむ

このしょっぱさは  
汗の味だが…

この暖かさだからね  
蒸れてしまうのは  
仕方ないか

しかし奥から  
さらに染み出てくる

前回のセックスで  
彼女は羞恥心を刺激されると  
興奮する事が解っています

弁償は  
するから♡

すまんね  
君のパンストを  
一度こうやって  
みたかったんだよ

違いますっ

そんなの  
出ていません！

あっ

あっ

ああっ

そんなっ

音を  
たてすぎです

もはや  
汗とは  
汗とは言えない  
味と粘り気だな

な：  
なんですか  
それは!!

そうそう

パイプレーターを  
知らんのかね？

彼女が自宅へ  
来ることになり、  
急速、パイプレーターを  
購入しました

君も独身女性なら  
家に一本や二本は  
あるだろう？

そんなもの  
持ってません！

私も使ってみたのは  
初めてでしたが  
スゴイですね

ただ  
なぞるだけでも  
ピクンピクンと  
反応し…

溢れる愛液は  
さらにその量を  
増します

ぶ：  
部長だめっ

大丈夫だよ  
ほら：

クリトリスと膣口を  
五十程往復した頃には  
もう膣口には  
何の抵抗もなく…

パイプレーターを  
招き入れるかの様に  
膣口も徐々に抵抗を  
弱めていきます

押し付けたパイプは  
肉洞の奥へスルスルと  
滑り込んで行きました。





す：  
すごいね

彼女にとって  
初のパイプライターは  
満足のいくものだった  
様です

あの時も何度か  
気をやるのを  
見たけど

はひっ

ここまで  
激しいのは  
初めてだよ

これなら私も  
あの日の事を  
忘れられるよ

お互いもっと  
気持ちよく  
なろうじゃないか

さあ

忘れる  
ために



おっおっお

次はフェラチオです

そうだ

何度も何度も  
繰り返して…

時間をかけて  
じっくりと…

タマの裏も  
吸って…

彼女の舌、唇  
そして喉奥を  
楽しみます

おっお

いいかんじだ

おっお

そうそう

おっお

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

前回よりも  
上手いじゃないか

私のペニスを  
口いっぱい頬張りながら  
私を睨みつける彼女

堂本にも  
してあげてるのかな？

じ：

今回は彼女に  
自ら挿れさせました

少し恥じらう素振りを  
見せた彼女でしたが

当然だろう  
早くしなさい

先程目の前で盛大に  
気をやったばかりです

意を決したように  
私の身体にまたがり

自分で  
ですか？

んっ

んっ

私の剛直をそっと  
膣口にあてがい：

そのままゆっくりと  
腰を下ろしました

屈辱と諦めと悦びが  
入り混じった目が  
たまりません

.....

ブルメツ

あっ

だめっ

また奥に...

入って  
きちやう...

コッ...

パイプで  
程よくほぐれた  
膣口は...

待ち構えたかのように  
私のペニスに  
ねっとり  
まとわりつき...

きん

おん

おん

ちん

は...は

おん

動いて

んっ

んっ

んっ

はっ

おん

おん

おん

ほう

この間の時より  
密着した印象だ

君の膣中も  
私のペニスの形に  
合ってきた証拠だな

そ・そんなこと  
ありませんっ

甘えた喘ぎ声を  
こぼします

そうは言っても  
彼女は私のペニス  
が打ち込まれる衝撃に  
こらえきれず…

日曜の朝

外からは  
鳥のさえずりしか  
聞こえない様な  
静寂の中……

彼女の喘ぎ声と、  
二人の繋がった生殖器から  
漏れ聞こえてくる  
汁の音だけが部屋に  
満ちています



も：  
基町くん

私の：

私のだ

甘い声を漏らす彼女の口に  
舌をねじ込むと彼女も  
待っていたかの様に  
舌をからめてきて：

もう私のものだ  
誰にも渡さん

もう彼女は完全に  
私のモノになって  
いました

んんん

口の中で  
二人の唾液が混ざり合い、  
喉を鳴らして呑みあいます

その証拠に  
私がヘニスを打ち込む度に  
溶けてしまうかの様な  
熱い肉壁で精液を  
搾り取ろうとするのです

あつ  
中でまた  
大きく：

あつ♡

あつ♡

あつ

で：出るよ  
基町くん、いいよね

決まってる  
じゃないか

あの時以上に  
気持ちよく  
なるのなら

イクよ

イクよ♡

また

また  
大きく  
なってます

そんな急に  
早くしたら

私も：

おおっ

あっ

だめっ

やっ

また  
膣中出しされる事を  
聞いて……

また中で……

また中で  
出すんですか？

彼女の膣内が  
より一層締まります

するとまた  
あの時の様に股間に  
大きな津波が起こります





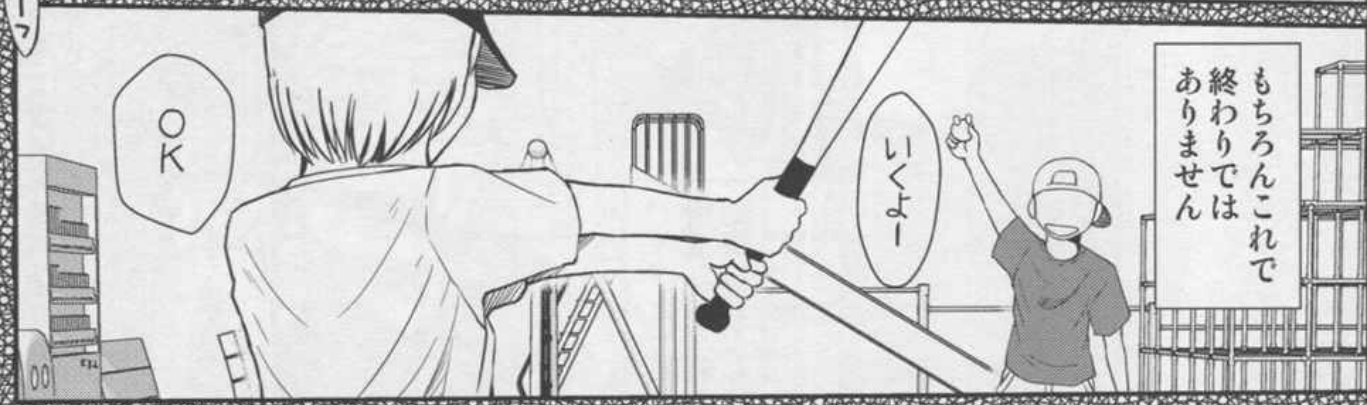
律動的な痙攣と共に  
私はありったけの精液を  
彼女の体内で噴出しました

この間よりも  
かなり良かったよ

その調子だ

はい...

は...



もちろんこれで  
終わりでは  
ありません

いくよー

KO



変化球  
ナシだよー



お昼になりました  
MHKニュースです

やはり彼女は  
恥ずかしがれば  
興奮する女性の様です

国会は参議院の  
予算委員会で  
集中審議が行われ

思った通りだ

政府の経済政策に関して  
野党は地方の経済的影響が  
厳しい点を指摘したのに対し

首相は、  
経済回復は順調に進行している  
この見方を示しました

よく似合ってるよ

パイプと一緒に  
用意した下着も  
効果抜群でした

質問に立った  
民王党の長谷川氏は

自分の恥ずかしい姿に  
さらに興奮したのでしよう

潤滑液はさらに溢れ、  
私の肉棒をより奥へ  
届かせます

届いてる  
かね？

と…  
届いてます

どこに？  
ハッキリ言って  
ごらん

おまんこ…

おまんこの奥に  
届いてます♡

今度はバット  
短く持つてみな

OK

あった？

あったあつた  
ここまで飛んでた

彼女の激しい  
息づかいと  
甘えた様な声

あ

あ

あ

あ

基町くん  
舌...

は...

はひっ

どうかね？

私のチンポと  
君のおまんこが  
繋がってるトコロが  
見えるかい？

あ

ああっ  
見えるっ

おちんぼ  
見えるっ

つながってる  
トコロ見えるう！

少しづつ彼女の  
心の枷が外れて行くのが  
手に取る様に解ります

いつしか彼女も  
自ら尻を突き出し、  
恥ずかしい言葉を  
繰り返して叫んでいました

あっ♡

部長のっ♡

おちんぼっ♡

だめっ

おちんぼ  
だめエ♡

あっ

ちんぼっ♡

私  
もう…

その時でした

ガタ…

!

部長私…





時々アパートの庭に入ったボールを取りに来るからありましたから

おそらく外で野球をしていた子供達でしょう

ぶ：  
部長っ！  
窓っ：  
人がっ：



30分くらい前から覗いていたよ

え：

ああ：

子供が  
見えます！

子供ですっ

え!?

いいじゃないか  
見せてやろう♡

こういうモノに  
興味を持ち始める  
年頃だよ

いやっ

だめですっ

力を  
抜きなさい

ここもしつかり  
見せてあげよう♡

ほら続けて♡

大丈夫、  
君が誰なのかなんて  
解りはしないよ

だめっ

ないでっ

だめっ

だめっ

見ないでえ!



追い打ちでさらに  
羞恥心を刺激する言葉を  
投げかけます

あの子達は  
君のことを  
どう思っ  
ているん  
だろうね

自分の母親と  
同じくらい  
年齢なのに

日曜日の  
昼間から  
セックスして

大声で  
ヒーヒー喘いで

いやあ…

そんな…

そんなに  
大声じゃ…

しかもそれを見られて  
さらに興奮している

淫乱で変態な  
おばさん♡

そんなこと…

いやあ…

見てごらん  
あの子たちの顔を

かぶりつき  
そうな目で  
見ている

私達のセックスが  
終わるまでは

どこへも  
行かないつもり  
らしいな♡

いやあ

もう帰って

どこかへ  
行って

行ってえ

行ってえ

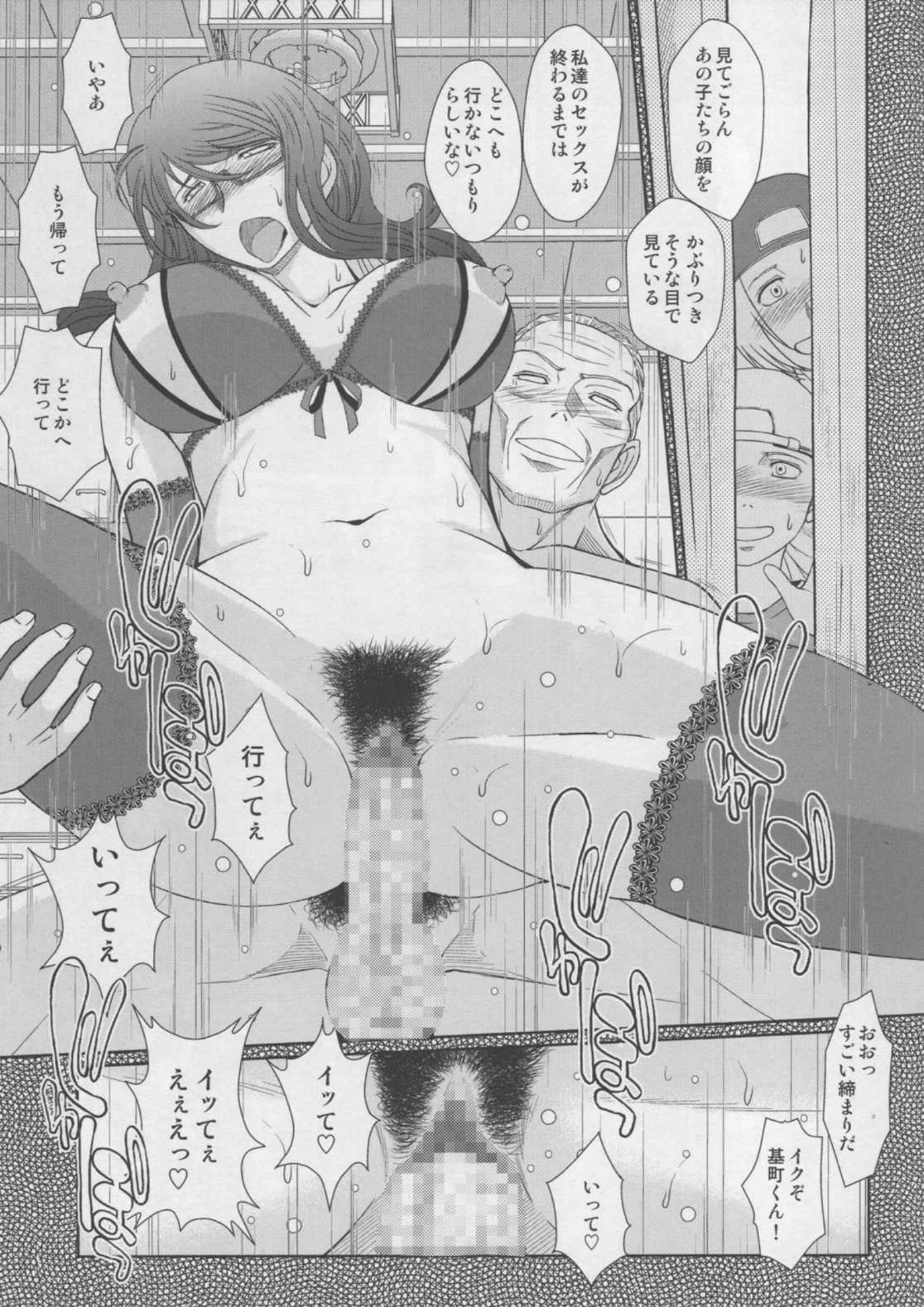
イッて♡

イッてえ  
えええっ♡

おおっ  
すごい締めまりだ

イクぞ  
基町くん!

らっ♡







もつと…

イツてええ♡

結局この日は  
そのまま朝まで  
彼女を罵り続けました

「あの日」を  
忘れる事が  
出来たのかは  
解りませんが…

私も彼女も  
満足出来たと思います

まだ  
ご報告したいことは  
あるのですが…

また投稿させて  
頂きます

東京都  
ホッシー

毎度どうも、ちばでございます。  
基町姉さん本の続き描いてみました。

本編も最終巻でしたねー。  
無事に幸せになれてよかったー♪

発行：サークルOUTERWORLD

発行人：ちばしゅう（千葉秀作）

発行日：2014年12月30日

印刷所：STARBOOKS様

【メール】

[c\\_outerworld@jcom.home.ne.jp](mailto:c_outerworld@jcom.home.ne.jp)

【twitter】

<https://twitter.com/chibasyu>

【pixiv】

<http://www.pixiv.net/member.php?id=807207>

【Google+】

<https://plus.google.com/u/0/114100282763774851465/posts>

**PRESENTED  
BY  
CIRCLE OUTER WORLD**